オ　　水田畦畔除草剤

|  |
| --- |
|  |

農薬等普及展示(長野県 2019)

（１行空け）

整理番号（全角） 課　題　名（左寄せ）

（１行空け）

農業改良普及センター

(試験場協力試験の場合は試験場名も並記)

（１行空け）

１ 目 的　（設計書の目的を記入する）

２ 設置場所

３ 担当者名　農業改良普及センター　　　　　　農家

４ 展示ほ設置方法

(1) 設置条件

 ① 標高

② 平年の雑草の発生状況 (主要雑草名と多少)

③ 田植時期

④ 面積、区制 １区　ａ

⑤ 区割り見取り図

⑥ 処理時の状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 展示区 | 雑草の発生程度 | 天候等 |  |
|
| (展) |  一年生雑草（タネツケバナ　30cm）（メヒシバ　30cm）  |   |
| （対） |  | 　 |

５ 供試薬剤

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 供試薬剤 | 散　　　　　　　布 | 　委託会社 |  |
| 時　　期 | 量(/水/10a) | 方　　　法 |
| (展) |  | 500 ml/150L |  | ○○○（株） |
| (対) |  |  |  |  |

６　展示成績

(1) 雑草調査

① 第１回雑草調査（除草剤処理前の雑草調査）(㎡当り) 　　　(調査日 月　日）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 供試薬剤 | メヒシバ | タネツケバナ | ノボロギク | オオバコ | 合　　計 |  |
| 草　丈cm | 占有率％ | 草　丈cm | 占有率％ | 草　丈cm | 占有率％ | 草　丈cm | 占有率％ | 草　丈cm | 占有率％ |
| (展) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| (対) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 無処理 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

 注１　雑草の記載順序は一年生雑草、多年生雑草の順に記載する

 注２　雑草名は原則として正式名称を用いる。類似草種(参考(2)参照)についてはノビエ、ホタルイ、タデ、カヤツリグサなどのように総称を用いることにし、必要に応じて正式名称を記載する。

 注３　草丈、占有率は整数で記載する。

② 第２回雑草調査

　 　刈取区の２回目の刈取りが必要となった時期、または対照薬剤の残効が終わって何らかの処置が必要となった時期のうち、早い方の時期に実施する。調査方法・様式は①と同じ。調査日のほか、処理後〇日を記入すること。

③ 第３回雑草調査

　　 展示区の残効が切れて、次の刈取りまたは２回目の除草剤散布が必要となった時期。調査方法・様式は①と同じ。調査日のほか、処理後〇日を記入すること。

(2)　薬害調査

 水稲に薬害が発生した場合に、薬害の程度と症状及び草丈・茎数調査を無処理との比較で調査する。

７　考察 (除草剤又は体系ごとに対照薬剤， 無処理に比較して)

　(1) 除草効果(全般的効果，及び対象雑草への効果)

　　　定型文「展示薬剤○○は、対照薬剤△△と同等の効果が認められた。」

その他のコメントは、定型文のあとに記載。

(2) 薬害の状況(生育状況，薬害の有無，様相，程度)

　(3) その他(散布の難易，普及上の問題点，気付いた点、農家の感想等)

８　評価

　下記により該当するものに○印をする。

　Ｂ、Ｃと評価した場合は、「７　考察」にその理由を記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　　　　　　評価展示薬剤 | 効　果 | 薬　害 | 総合評価 |
| Ａ | Ｂ | Ｃ | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ａ | Ｂ | Ｃ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

 　Ａ：実用性有り、薬害無～微　Ｂ：継続検討、薬害少～中　Ｃ：実用性なし、薬害甚